

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
73-3	海部灘	宍喰海岸	竹ヶ島地区	農水（農村）	海陽町	212	⑥海部灘ゾーン	環境重視

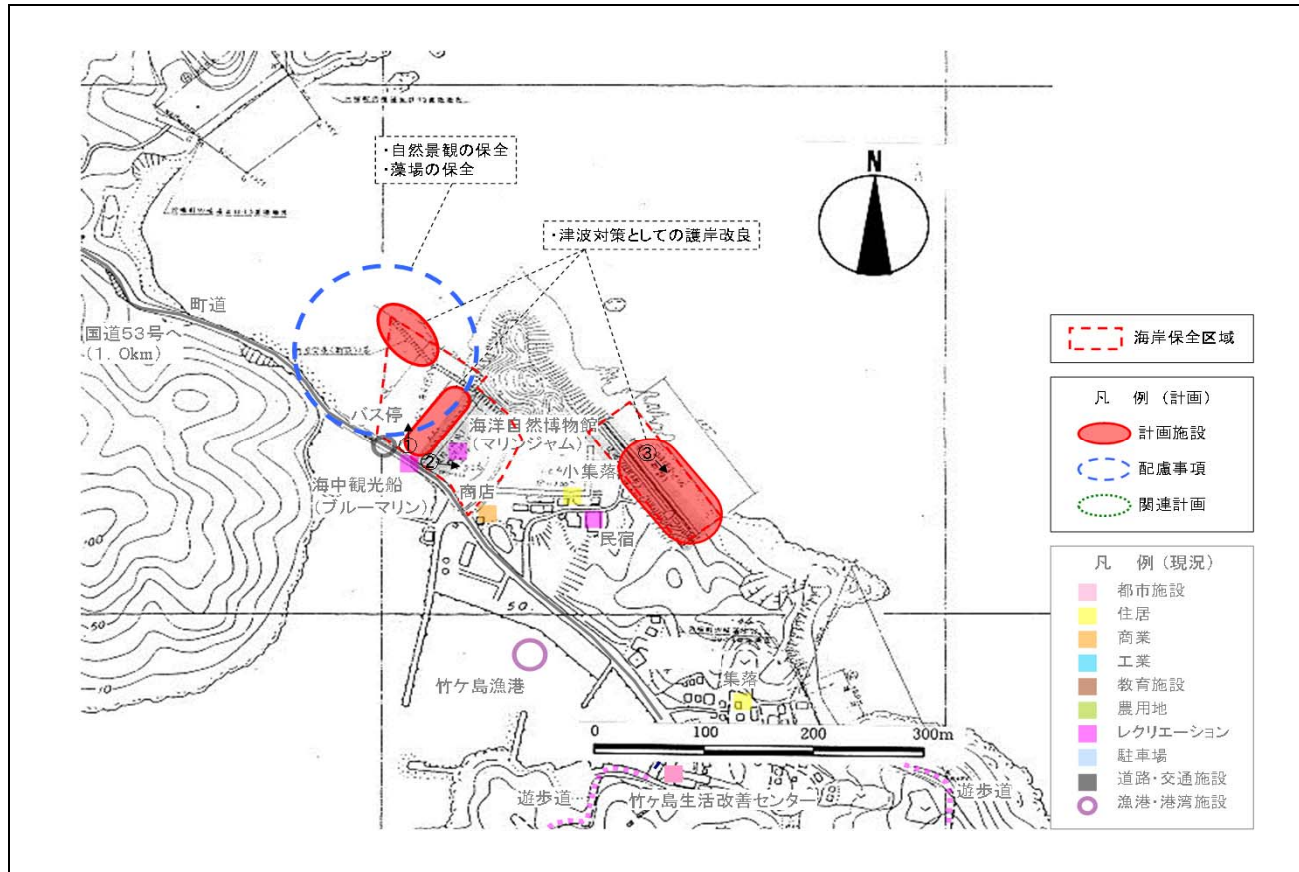
①護岸状況



②背後地状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。貴重な環境（サンゴ等）の海岸環境の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	水床湾の隠れた景観資源（多島海）、生物の生息環境として重要な藻場、周辺の海中公園区域（サンゴ等）、背後の魚つき保安林が一体となった竹ヶ島区域特有の自然環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	遊覧舟（マリンジャム）による海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	—
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防、消波工、突堤		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	宍喰町海洋自然博物館を背後に擁し、突堤が設置されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	磯浜		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ 竹ヶ島周辺
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、自然景観、サンゴ				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	2車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	遊覧舟（マリンジャム）				
地域からの要請	—				

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約2ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	藻場の保全、自然景観の保全		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
74	海部灘	穴喰漁港海岸	—	農水（水産）	海陽町	334	⑥海部灘ゾーン	防護重視

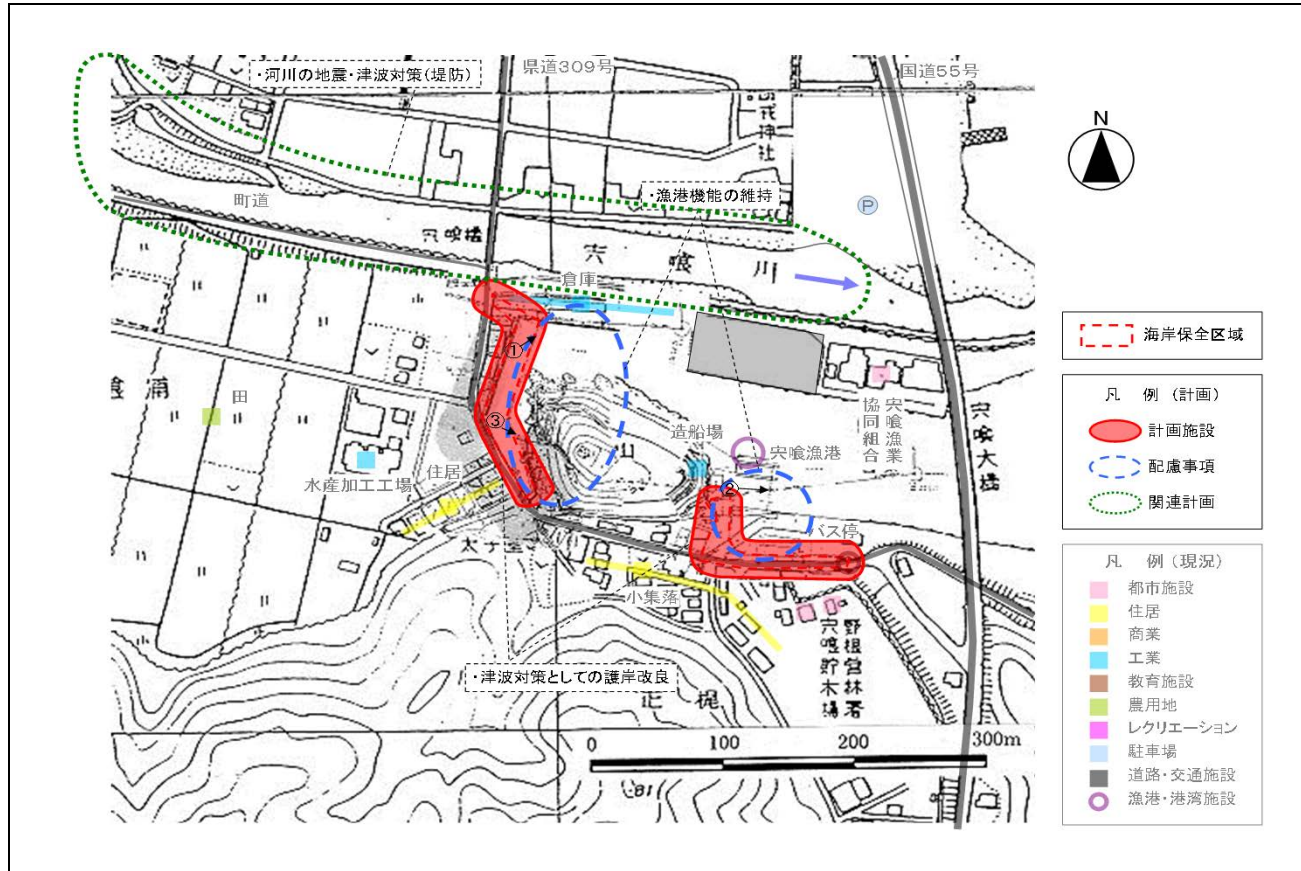
①漁港全景



②船だまり状況



③海岸状況（島部）



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。港湾機能に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	漁港部水域は閉鎖性が強く、水質保全の観点から海水交換を妨げないように留意するとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	—
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	物揚場・護岸の嵩上げ（平成8年）が完了しており、現在漁船溜まりとして前面水域は利用されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	—				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	干潟	サンゴ	—	
配慮すべき資源	多くの汽水性魚類が生息しており配慮が必要				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	良好				
海岸利用状況	漁港				
地域からの要請	—				

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約10ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	漁港機能の維持		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
75	海部灘	竹ヶ島地先海岸	—	国土(水管理)	海陽町	45	⑥海部灘ゾーン	環境重視

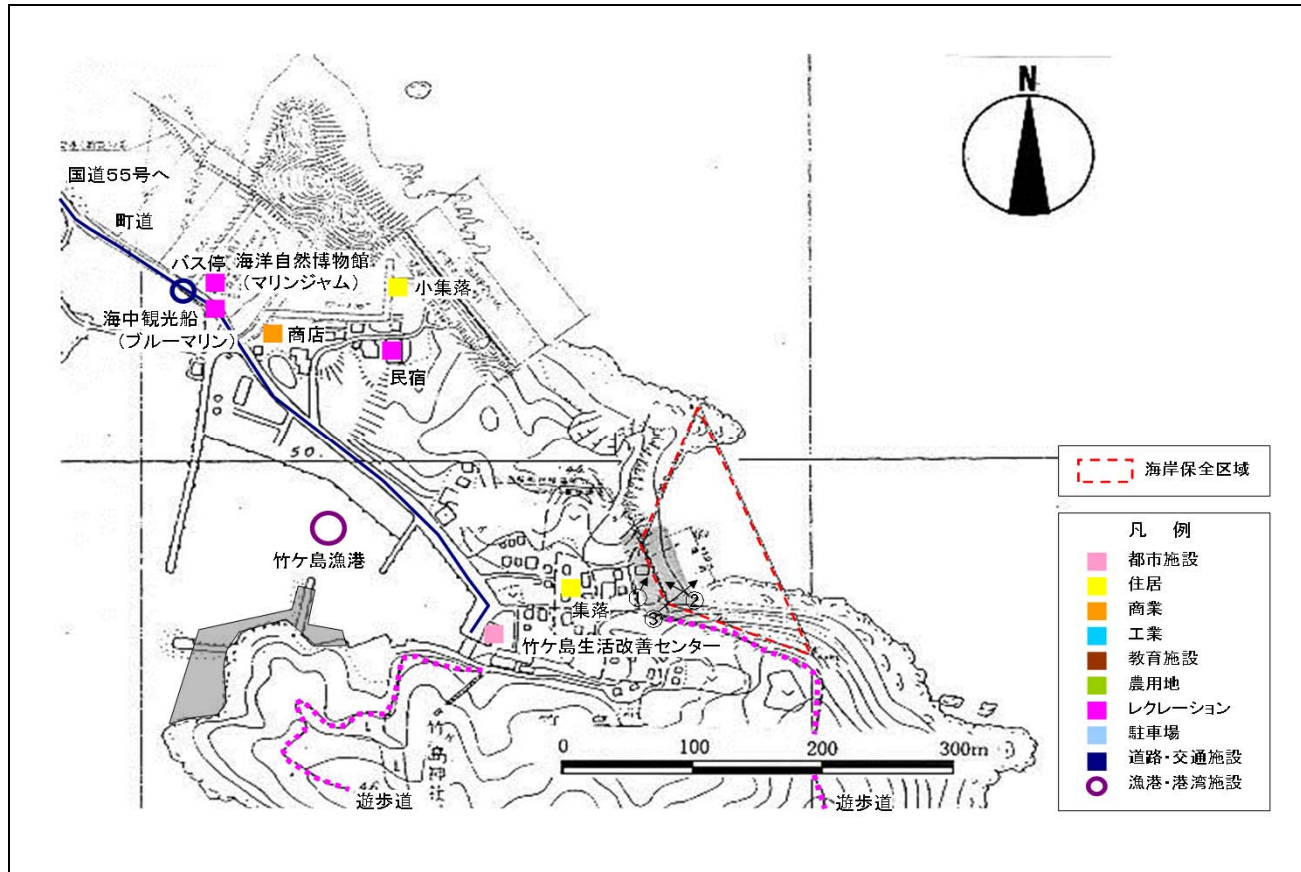
①海岸状況



②護岸状況



③護岸背後状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、貴重な環境（サンゴ等）を有していることから、特に海岸環境の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	水床湾の優れた景観資源（多島海）、生物の生息環境として重要な藻場、周辺の中公園区域（サンゴ等）、背後の魚つき保安林が一体となった竹ヶ島区域特有の自然環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	キャンプ場が隣接し海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	護岸前面にキャンプ場が整備されている。背後は漁業集落となっている。保全区間の両端は山肌に接している。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	磯		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ 竹ヶ島周辺
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、自然景観、サンゴ				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり				
海岸利用状況	臨海キャンプ場				
地域からの要請	—				

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
76A	海部灘	金目地先海岸	—	国土（水管理）	海陽町	(360)	⑥海部灘ゾーン	環境重視

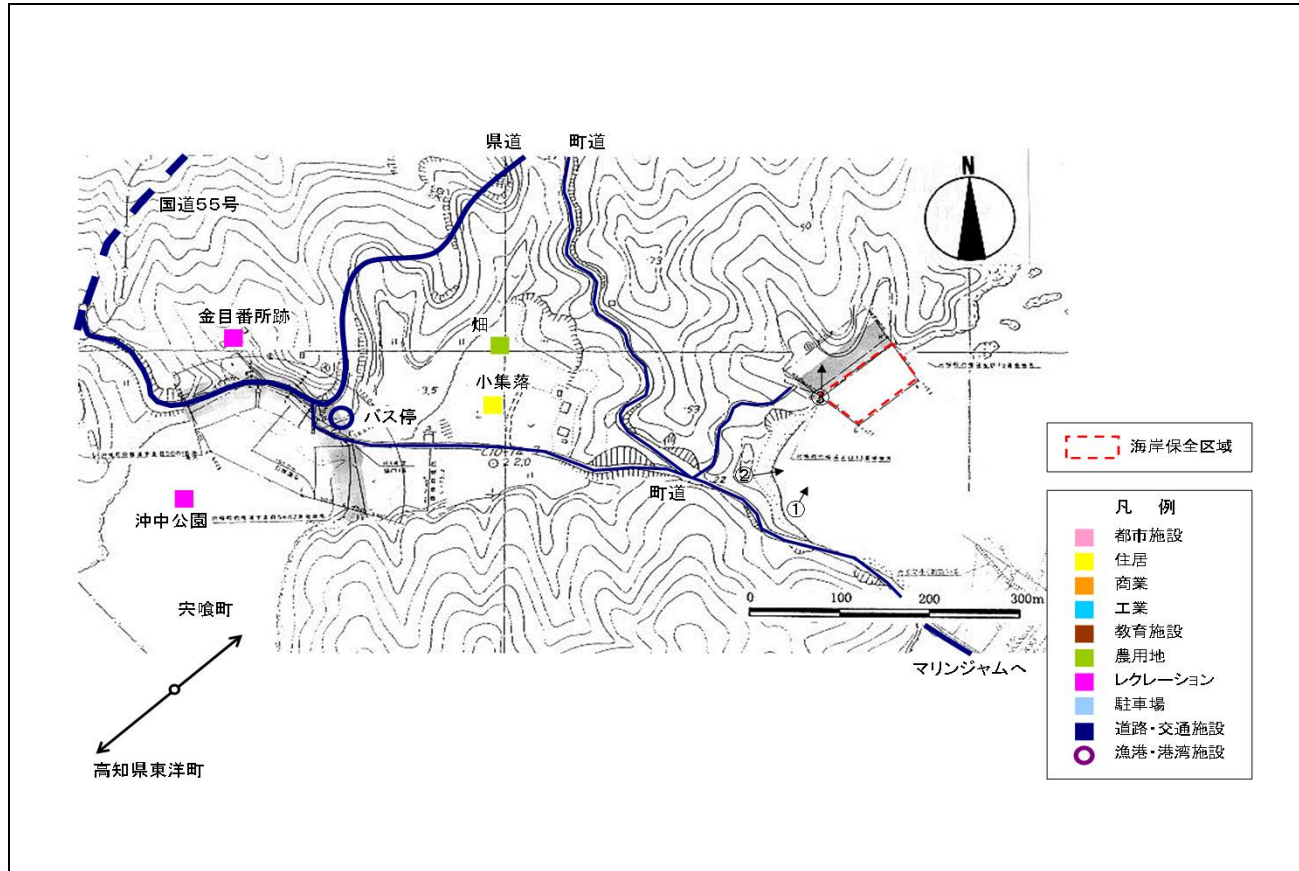
①海岸状況



②海岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、貴重な環境（サンゴ等）を有していることから、特に海岸環境の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	水床湾の優れた景観資源（多島海）、生物の生息環境として重要な藻場、周辺の中公園区域（サンゴ等）が一体となった竹ヶ島区域特有の自然環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。					
海岸保全区域の概況	前面は玉砂利が堆積している。護岸法線はズレがみられ、石積護岸の劣化箇所も確認できるが、機能的に問題はないと考えられる。護岸背後は荒地になっている。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	磯浜			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ	竹ヶ島周辺
配慮すべき資源	自然関係法令、自然景観、サンゴ					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	500m以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
76B	海部灘	金目地先海岸	—	国土（水管理）	海陽町	(360)	⑥海部灘ゾーン	環境重視

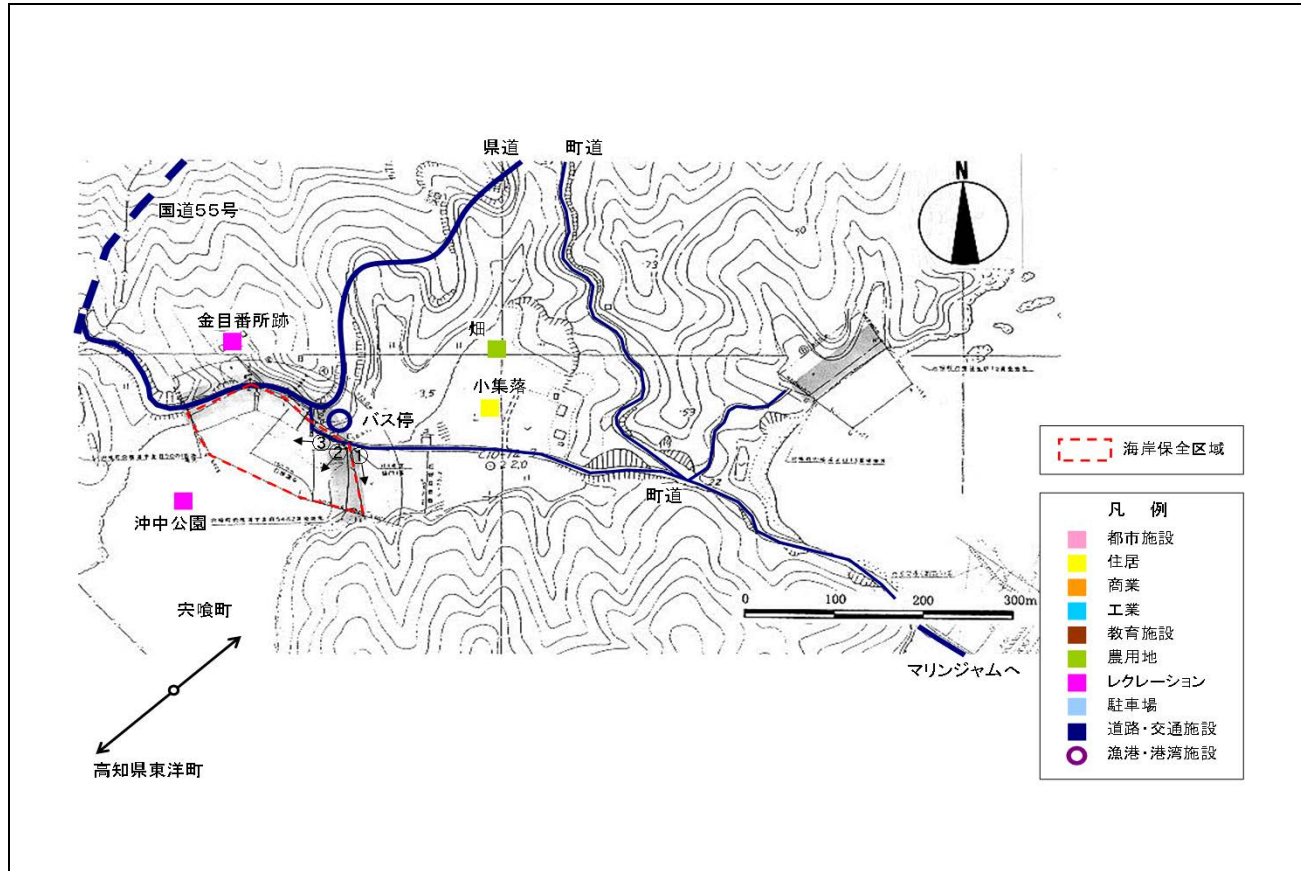
①海岸状況



②海岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、貴重な環境（サンゴ等）を有していることから、特に海岸環境の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	水床湾の優れた景観資源（多島海）、生物の生息環境として重要な藻場、周辺の中公園区域（サンゴ等）が一体となった竹ヶ島区域特有の自然環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	C	既存保全施設	緩傾斜護岸・ブロック張			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	ブロック張の緩傾斜護岸が整備済みであり、それ以外は自然海岸である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	隣浜			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第3種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ	竹ヶ島周辺
配慮すべき資源	自然関係法令、自然景観、サンゴ					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
77	海部灘	竹ヶ島漁港海岸	—	農水（水産）	海陽町	—	⑥海部灘ゾーン	防護重視

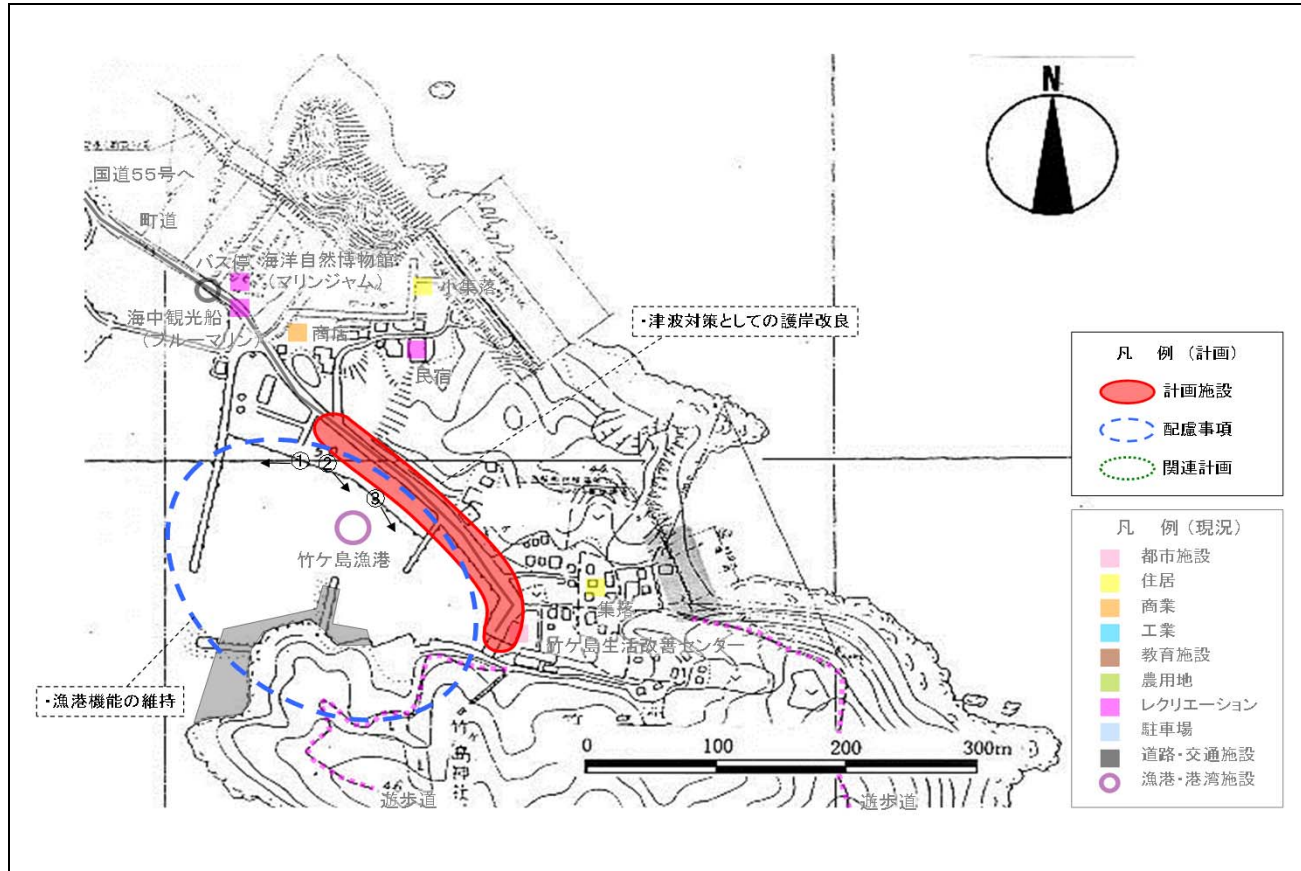
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。漁港機能に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	漁港部水域は閉鎖性が強く、水質保全の観点から海水交換を妨げないように留意するとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	物揚場・護岸の嵩上げ（平成8年）が完了しており、現在漁船溜まりとして前面水域は利用されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	—				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	—				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	良好				
海岸利用状況	漁港				
地域からの要請	—				

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約1ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	漁港機能の維持		